



八王子市立由井中学校

<http://hachioji-school.ed.jp/yuij/>

192-0914 東京都八王子市片倉町553番地

TEL: 042-642-2148 FAX: 042-646-0405

CC大作戦を行いました

3月7日、晴天の下、CC大作戦を実施しました。当日は、地域の皆様と本校の生徒・教職員を合わせて、参加者は600名を超える活動となりました。

地域から参加された方々は、それぞれの地域から清掃活動を行いながら本校へ集まりました。活動後には、青少対委員の方が用意してくださったジュースや、炊き出し訓練として生徒が調理したカレーライスを振る舞いました。今回は国産ビーフを使ったカレーで、「とてもおいしい」と好評をいただき、青空の下、グラウンドには多くの笑顔が広がりました。

また、生徒会の生徒たちはユニセフ募金活動を行い、地域の皆様から多くの温かいご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

本活動の実施にあたり、PTA役員の皆様、サポーターの皆様、おやじの会の皆様をはじめ、多くの方々にご協力・ご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。

地域・家庭・学校が一堂に会して活動するこのような機会は、大変貴重なものです。スマートフォンの普及などにより個人中心になりがちな時代において、人と人とのつながりを改めて感じる場にもなっています。同時に、生徒たちが日頃お世話になっている地域社会への感謝の気持ちを行動で表す機会にもなりました。

今後も学校は地域の皆様とともに歩み、活動の改善を重ねながら、生徒の健全育成に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



地域清掃(片倉町交差点付近)



校内整備(文化教養部:園芸班)



ゴミの分別(生徒会)



炊き出し訓練(カレー作り班)

卒業式に向けて

卒業式まであと2週間となりました。先日、2・3年生が合同で卒業式の練習を行いました。生徒たちは厳粛な雰囲気の中で、真剣に練習に取り組んでいました。卒業式には、それぞれにさまざまな思いや意味が込められています。学習指導要領では、儀式的行事について「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」と示されています。このような意味をもつ卒業式ですが、その意義について、去年の修了式で生徒たちに話した内容を紹介します。



練習の様子



去年の修了式より抜粋（1・2年生に向けて）

さて、先日卒業式がありました。三年生は立派に卒業していきました。その卒業式の中で「学事報告」というものがありました。副校長先生が「学事報告はお手元の印刷物をもって代えさせていただきます」とアナウンスして終わる学事報告です。時間にして数十秒。皆さんの中には、何の意味だか分からなかった人がいたかもしれません。

しかし、学事報告は卒業式の中でとても重要な意味を持っています。

卒業式は、保護者や地域の方々に三年間の教育活動を報告し、成長した姿を見ていただく場でもあります。来賓として、学校を設置している教育委員会の方や、保護者・地域の代表の方々をお招きしています。長年にわたり地域の方々は納税という形で学校教育を支えてくださっています。その税金によって、学校は校舎を維持・管理し、先生たちを雇い、さまざまな教育活動を行っています。

例えば、電気代や水道代、教材、給食など、学校を運営するためには多くの費用がかかっています。その投資の成果を見ていただく場として、卒業式があるのです。学事報告は、決して単なるセレモニーではありません。

さて、皆さんは1年後、あるいは2年後に卒業式を迎えます。その時に、学校を支えてくださっている方々へ、どのような教育活動の報告ができるのか。どのような成長の姿を見せることができるのか。それは、これからの日々の積み重ねにかかっています。

春休みには、どんな小さなことでも構いません。自分に少し負荷をかけて、何かに挑戦してほしいと思います。挑戦をすることで、自分にできないことや足りないことが見えてきます。そして、その足りない部分を補おうと努力する中で、人は成長していきます。

学校という場は、皆さんが成長するために設けられている場所です。そのために多くの税金が投入され、社会全体で支えられています。見ず知らずの納税者の方々への感謝は、最大限の努力と成長の事実をもって示すしかありません。春休みのしおりには凡事徹底と書きました。誰にでもできることはあります。小さな努力を積み重ね、実りある春休みを過ごしてほしいと思います。

～Message to Graduates～

There is more in you than you think

あなたには、自分で思っている以上の力があります。

自分の可能性を信じて、新しい一歩を踏み出してください。